

ひと・夢・まち 町長コラム

交渉上手になっていませんか？（令和4年2月号）

西郷どんの教え その34

令和4年も早ひと月が過ぎ、新たなる目標が見えてきている頃でしょうか。平成30年6月からコラムのテーマとしてきた西郷どんシリーズ「西郷どん十の訓え：西郷家の家訓」からスタートし、今日まで西郷さんの信念を紹介してきました。「西郷どんの教え」は全4章に加え、追加18章で構成されています。これから先もしばらくの間、150年前に語ったとされる西郷隆盛の言葉に耳を傾けていただければ幸いです。今回は、「かけひきは普段は使わないほうが良い。かけひきしてやったことは、その結果を見ればよくないことがはっきりわかるもので、必ず後悔することになる」という言葉をご紹介します。

コロナ禍の状態が続いている今、「何を成すべきか？」一人ひとりが考え、行動することが大切な対策の一步と思っています。

私たちが生活している社会は、さまざまな歴史的背景を経て、今があるわけです。未来の子どもたちのために新型コロナを克服し、かけひきのない安全で平和な社会を残す責務を強く感じるのです。